

BUSINESS REPORT

We Find the Way
 日本通運
NIPPON EXPRESS
証券コード No.9062

第113期 中間報告書 | 2018年4月1日～2018年9月30日



グローバル経営の拡大、 より一層の企業価値向上を目指して

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、世界経済が貿易摩擦問題等により先行きが不透明になりつつあるものの、欧米および他のアジア諸国の堅調な景気拡大などを背景に、輸出や生産活動に加え、設備投資や個人消費の持ち直しもあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済情勢のなか、物流業界におきましては、国内貨物はたび重なる自然災害の影響などにより、荷動きは鈍化いたしました。消費関連および一般機械を中心とした生産関連貨物の輸送が堅調に推移し、国際貨物はアジア向けを中心として、電子機器関連等の航空貨物が好調を維持するなど、総じて堅調に推移いたしました。

日通グループは、このような経営環境のなか、最終年度を迎えた3ヶ年の経営計画「日通グループ経営計画2018一新・世界日通。」の達成に向け、重点戦略である「エリア戦略」と「機能戦略」の着実な遂行にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

「エリア戦略」

- ・「日本」では、お客様のロジスティクスをトータルに獲得することを目指し、陸・海・空の組織が一体となって、取引拡大に向けて取り組むとともに、内航海運と鉄道を組み合わせたネットワーク商品を開発、販売するなど、新規事業軸の構築に取り組んでまいりました。
- ・「海外」では、引き続き成長の見込まれる南アジアを中心に経営資源の集中投下を行い、各国において倉庫拠

点の整備を行うなど、アジア発着ならびにアジア域内の物流を拡大するとともに、海外における事業領域の拡大に積極的に取り組んでまいりました。

「機能戦略」

- ・組織の再編等による営業体制の整備をさらに進め、ワンストップ営業とアカウントマネジメントを一層強化し、地域特性に適應した事業展開を構築するとともに、国際関連ビジネスの拡大に向け、営業力の強化を図ってまいりました。
- ・生産性の向上に向けた取組みとして、シェアードサービス組織への経理事務の集約を加速させ、合わせてRPAの活用を進めるなど間接業務の軽減と効率化により、経営基盤の強靱化を図ってまいりました。
- ・すべての従業員にとって働きがいのある企業を目標に、ダイバーシティの推進や長時間労働の解消に取り組むなど、意識改革と環境整備の両面で働き方改革を積極的に推し進めてまいりました。

この結果、第113期第2四半期連結経営成績につきましては、**売上高は1兆403億円**（前年同期比8.8%増）、**営業利益は340億円**（前年同期比5.6%増）、**経常利益は377億円**（前年同期比9.6%増）、**親会社株主に帰属する四半期純利益は234億円**（前年同期比8.7%増）となりました。

なお、第113期中間配当金につきましては、本年10月31日開催の取締役会において、普通株式1株につき、70

円と決定し、支払開始日を本年12月4日とすることを決定いたしました。

当下半期の経済動向につきまして、海外経済は、全体として回復基調にあるものの、高まりつつある地政学的リスクに加え、米国の保護主義的な通商政策や米中間貿易摩擦の激化等による経済の先行き不安や政情・政策に関する不確実性など、不透明な材料が数多く顕在化しております。国内経済は、自然災害の影響が一部残ると考えられますが、引き続き設備投資を中心とした内需が牽引する一方で、外需は弱まると予想されます。

このような経営環境のなか、物流業界は働き方改革の推進や人材確保・育成への取組みに加え、先端技術を導入した省力化物流サービスの開発など、業界全体として新たな価値創造産業への転換を求められております。

日通グループは、こうした経営環境の変化に迅速に対応し、世界を舞台に戦える真のグローバルロジスティクス企業を目指して、さらなる成長と、より一層の企業価値向上を図り、株主の皆様のご期待にお応えしてまいり所存でございますので、引き続き株主の皆様のご理解とあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長

齋藤 充



アジア向けの電子部品をはじめ、航空輸出貨物が好調を維持するなど、
国際貨物を中心とした荷動きを確実に取り込んだことにより、

売上高、各利益ともに
過去最高

第2四半期(累計)で初となる
売上高1兆円を達成

売上高
1兆403億円
(前年同期比8.8%増)

営業利益
340億円
(前年同期比5.6%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益
234億円
(前年同期比8.7%増)

中間配当金
70.0円

売上高

(単位：億円)

営業利益

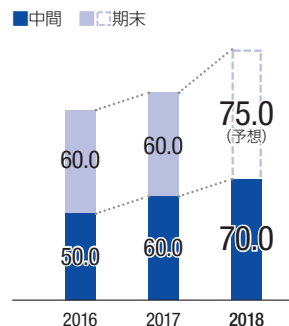
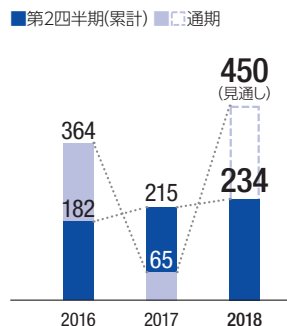
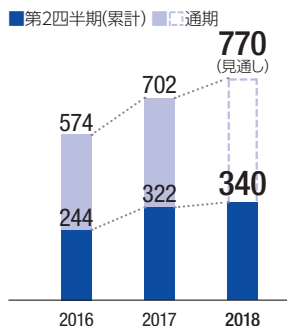
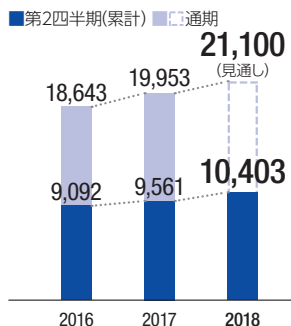
(単位：億円)

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

(単位：億円)

1株当たり配当金※

(単位：円)



※記載の配当金は、2017年10月1日付の株式会社併合(10株→1株)を考慮した金額で記載しております。



ロジスティクス

79.0%

■売上高

8,223億円
(前年同期比 **8.2%**増)

■営業利益

298億円
(前年同期比 **11.8%**増)

日本 59.2%
米州 4.5%
欧州 5.4%

東アジア 5.7%
南アジア・
オセアニア 4.3%



物流サポート

22.0%

■売上高

2,285億円
(前年同期比 **11.9%**増)

■営業利益

57億円
(前年同期比 **8.2%**増)

重量品建設

2.4%

■売上高

248億円
(前年同期比 **0.0%**減)

■営業利益

20億円
(前年同期比 **10.9%**減)

警備輸送

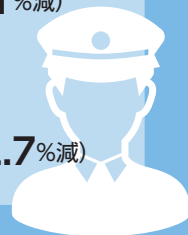
3.5%

■売上高

359億円
(前年同期比 **0.1%**減)

■営業利益

2億円
(前年同期比 **72.7%**減)



※当社は、2018年4月1日に実施した、警備輸送に関する組織改正にあわせて、2018年度より日本(ロジスティクス)セグメントの一部を、警備輸送セグメントに変更いたしました。これに伴い、2017年度第2四半期(累計)の数値をセグメント変更後の数値に組み替え、前年同期比を計算しております。

私たちは、「物流を通して社会に貢献し、豊かな未来を創る」という理念のもと、世界の人々のより良い暮らしと持続可能な社会の発展を支えるため、様々な企業活動を行っています。

日通が
伝えたい
こと ①

世界展開

- グローバルネットワークの拡充
- 地域特性に適応した事業展開

私たちは、世界の国々や地域において物流を核としたサプライチェーンソリューションを提供し、お客様のグローバル展開に貢献しています。

大メコン圏の経済回廊

パナマ

ラオス

新拠点で営業を開始

当社グループは、7月にパナマ共和国およびラオス人民民主共和国に支店を開設し、営業を開始いたしました。

太平洋と大西洋を結ぶ運河で有名なパナマは、中南米向けの物流拠点としても機能しており、当社は、同国を中南米への販売戦略の要衝と位置付けております。

また、高い経済成長率を誇り、GMS(大メコン圏)*の中心に位置するラオスは、タイ・ベトナム・中国を結ぶ物流の戦略地域としても注目されております。



パナマ運河と港湾物流

*GMS(大メコン圏)：タイ・カンボジア・ラオス・ベトナム・ミャンマーの5か国と中国雲南省および広西チワン族自治区にまたがるメコン川流域の総称

タイ 「GMS越境交通許可証」を取得

日通ロジスティクスタイランド株式会社は、GMS(大メコン圏)の関係国間の通行の制限を、段階的に無くし、最終的に自由な相互通行を可能とする「GMS越境交通許可証」を日系企業最多となる貨物車両12台分で取得いたしました。これにより、一部の国境において必要であった貨物の積み替え作業が不要となり、貨物へのダメージの低減や輸送時間の短縮が可能となるなど、さらなる物流の活性化が期待されます。



タイ-カンボジア間国境を走る車両

ハラールとは？

イスラム教の教えで許された「健全な商品や活動」の全般を指す。食品・化粧品・医薬品などの他、物流や金融といったサービスにも適用される。ハラール認証とは、ハラールであると認められた製品やサービスにマークを付与する制度。



インドネシア ハラール製品の一貫輸送体制を確立

当社グループは、マレーシア、日本に続きインドネシアにて、ハラール認証機関であるLPPOM-MUI*からハラール認証を取得いたしました。

人口の約9割がイスラム教徒の同国では、ハラール製品の需要が高く、2019年には同国国内で流通、取引される食品・化粧品・医薬品にハラール認証取得義務を課す法律の施行も予定されております。

当社グループは、さらなる拡大が見込まれるハラール市場において、グローバルなハラール物流サービスを提供してまいります。

*LPPOM-MUI: インドネシア・ウラマー評議会 食料・薬品・化粧品研究所

タイ 日本 新倉庫を建設・竣工

日通ロジスティクスタイランド株式会社は、7月、タイ最大の規模を誇るアマタシティチョンブリ工業団地に「アマタシティチョンブリロジスティクスセンター」を竣工いたしました。同工業団地は、高い経済成長が見込まれる経済特区・EEC*内にあり、現在700社以上の企業が進出しており、今後さらなる発展が期待されております。

また当社は、9月に愛知県の中部国際空港(セントレア)内の貨物エリアに新棟を竣工いたしました。中部エリアにおける輸出入の中核となる物流拠点として、自動車や工作機械、航空機、生鮮品など幅広いニーズにお応えしてまいります。



アマタシティチョンブリ
ロジスティクスセンター外観



中部国際空港新倉庫外観

*EEC(Eastern Economic Corridor, 東部経済回廊): タイ政府が
バンコク東部3県を投資優遇地とした経済特区

日通が
伝えたい
こと②

安全品質

- 公共の場の安全確保
- 物流インフラ・ネットワークの維持・強化

私たちは、社会的・公共的な使命を自覚し、「安全」に徹し「安心」を提供するために、安全管理、品質向上に取り組んでいます。

第33回全国フォークリフト運転競技大会で優勝

当社グループでは、運転・作業における安全性と品質の向上を目的として、社外の競技大会へ積極的に参加しております。

9月に開催された、陸上貨物運送事業労働災害防止協会が主催する第33回全国フォークリフト運転競技大会では、各都道府県の予選大会を勝ち抜いてきた出場者のなかで、当社グループ従業員では、4名が優勝を含む上位入賞を果たしました。

今後も各種競技大会への出場を通じて、安全作業の実践や技能の向上をより一層推進してまいります。



競技中の様子



上段左から、女性部門3位 杉山選手、一般部門4位 盛田選手、
下段左から、3位 荒木選手、優勝 大沼選手

「機械化技術の採用による点呼精度向上の研究」を開始

当社と日通総合研究所は、「機械化技術の採用による点呼精度の向上」をテーマに、国土交通省が行う「平成30年度交通運輸技術開発推進制度」に応募し、6月に採択され共同で研究を開始いたしました。

本研究では、運行管理者がドライバーに対して行う点呼に自動化技術を導入し、点呼の精度を向上させると同時に業務の省力化を図ることを目的としており、有識者・学識者などの協力のもと、3年間の研究を予定しております。

この成果が多くの貨物運送事業者、旅客運送事業者に活用され、将来の運行管理の在り方に貢献できるよう取り組んでまいります。

鉄道を用いた環境負荷の低い複合輸送サービスの開発

日本発欧州向けの輸送で主に利用される「海上輸送」と「航空輸送」に「中国欧州間鉄道」を組み合わせた複合輸送サービス「Eurasia Train Direct (Sea & Rail)」、 「Eurasia Train Direct (Air & Rail)」を開始いたしました。

海上輸送、航空輸送と鉄道輸送を組み合わせた複合輸送サービスを開発することにより、お客様のコスト負担の軽減や所要リードタイムの短縮だけでなく、輸送中に排出されるCO₂の大幅な削減も実現いたしました。



中国と欧州を結ぶ列車「中欧班列」

未来の世代への環境教育の一環として、出前授業を実施

当社は、未来の世代へ環境保全の大切さを伝えるための出前授業を実施しています。6月には埼玉県内の小学校にて、約160名の児童を前に、引越しで使用する当社独自の反復資材を用いて引越し時のごみの削減について紹介するとともに、3R*の推進を呼びかけました。

当社の事業や環境保全活動を紹介するこの取組みは、児童の皆さんに通常の授業とは異なる観点から環境について学べると好評をいただいております。

※3R：リデュース(廃棄物の発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化)



小学校での出前授業の様子

日通が
伝えたい
こと ③

環境保全

- 地球温暖化の防止
- 循環型社会の形成

私たちは、事業活動で発生するエネルギーの使用量および温室効果ガスの排出削減など、環境負荷低減に取り組んでいます。



ポータルサイト画面

ダイバーシティに対する理解の定着

eラーニングによる従業員教育や、各職場における従業員の個性を活かす職場風土醸成のためのダイバーシティマネジメント研修等の実施により、組織全体の意識改革に取り組んでおります。

また、ポータルサイトを通じてダイバーシティを体現する従業員や各職場における様々な取組み事例などを紹介し、幅広い情報共有を図っております。

多様な働き方の実現

当社では、育児・介護等の両立支援を目的に、新たに在宅勤務制度を導入したほか、サテライトオフィスの利用拡大などにより、柔軟で効率的な働き方を推進しております。

また、各職場で働き方の見直しについて、ボトムアップで検討する活動を全社的に展開するなど、より一層生産性を高めるための取組みを行っております。



日通が
伝えたい
こと ④

ダイバーシティ の推進

- 安全・安心に働ける職場環境
- 多様な働き方への支援

従業員一人ひとりがそれぞれの個性を活かし、働きがいを実感できる職場づくりに取り組んでいます。

お・し・え・て日通

Q 東京ディズニーリゾート®では、
どのような施設を提供していますか？

A 当社は、オフィシャルスポンサーとして
「宅配センター」をはじめ、「イツツ・ア・スモールワールド」や
「シンドバッド・ストーリーブック・ヴォヤッジ」の
アトラクションを提供しています。

当社が提供するアトラクション「イツツ・ア・スモールワールド」
が開園以来初の大幅リニューアルを終えて、4月15日(日)にオー
プンいたしました。

ボートに乗り、世界中の子どもたちや動物たちに迎えられ、「世界
で一番幸せな船旅」を体験できるアトラクション「イツツ・ア・ス
モールワールド」は、このリニューアルにより新たに多くのディズ
ニーのキャラクターも参加し、世界中を巡る様々なシーンをこれま
で以上に華やかに彩っています。

東京ディズニーランド®

「宅配センター」

「イツツ・ア・
スモールワールド」

東京ディズニーシー®

「宅配センター」

「シンドバッド・
ストーリーブック・ヴォヤッジ」



©Disney

役員

取締役

代表取締役会長



渡邊 健二

取締役 専務執行役員

代表取締役社長 社長執行役員



齋藤 充

取締役 常務執行役員

代表取締役副社長 副社長執行役員



伊藤 豊

海外事業本部長



石井 孝明

グローバル営業戦略本部長



竹津 久雄

ネットワーク商品事業本部長、
管理本部長

取締役 執行役員



寺井 克宏

関東甲信越ブロック
地域総括

取締役



佐久間 文彦

関東・信越エリア担当兼
首都圏支店長



秋田 進

ロジスティクスエンジニアリング
戦略室、事業収支改善推進部、
広報部、総務・労働部、業務部、
NITTSUグループユニバーシティ担当



堀切 智

経営企画部、
グループ経営管理部担当



松本 義之

航空事業支店長



増田 貴

財務部、グループCRE
マネジメント部担当



杉山 雅洋

(注)杉山 雅洋、中山 慈夫および安岡 定子の各氏は、社外取締役であります。



中山 慈夫



安岡 定子

監査役

常勤監査役



鈴木 達也



神吉 正



林田 直也

(注)神吉 正、野尻 俊明および青木 良夫の各氏は、社外監査役であります。

監査役



野尻 俊明



青木 良夫

執行役員

常務執行役員

近藤 晃
植松 満
池田 誠

杉山 龍雄
吉岡 英

中村 栄一
内田 敏朗

執行役員

佐藤 武司
海野 茂
橋本 浩平

宮脇 一郎
永井 裕
有馬 重樹

中川 真人
合屋 隆司
関根 章好

神取 浩
高橋 浩
浜島 和利

船木 博文
杉山 千尋
竹添進二郎

会社概要

会 社 名 日本通運株式会社

本 社 〒105-8322
東京都港区東新橋一丁目9番3号
TEL: 03-6251-1111
https://www.nittsu.co.jp/

設 立 1937年10月1日

資 本 金 701億75百万円

従 業 員 数 32,616名

支 店 344支店

連結子会社および
持分法適用会社 連結子会社 269社
持分法適用会社 25社

事 業 内 容 貨物自動車運送事業
利用航空運送事業
船舶利用運送事業
内航海運業
鉄道利用運送事業
倉庫業
警備業
重量物の運搬、架設、設置および
これに付随する事業
建設業
旅行業
通関業ほか

株式の状況

株 式 数 発行可能株式総数 398,800,000 株
発行済株式の総数 99,800,000 株
株 主 数 49,725名

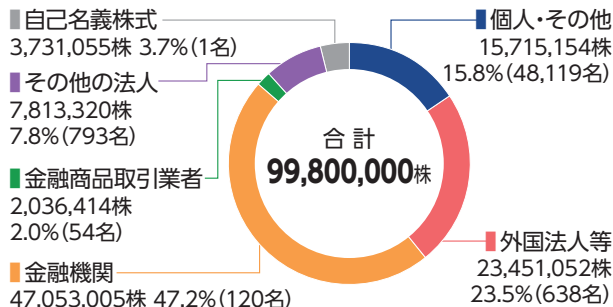
大株主

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	8,831,500	9.22
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	7,971,900	8.32
朝日生命保険相互会社	5,601,967	5.85
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,836,752	5.05
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,150,000	4.33

※ 持株比率は、自己株式3,731,055株を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況

〈株式数および比率〉



単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
 - ②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行
- (※下記までお問い合わせください。)

東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては
 当社ホームページでも
 ご案内しております。

<https://www.nittsu.co.jp/ir/stock-info/procedure/>

日本通運 株式諸手続き



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から
翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

上場取引所 東京

証券コード 9062

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公 告 方 法 電子公告
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス
<https://www.nittsu.co.jp/>

CORPORATION



事業内容やサービス紹介、最新ニュース、IR関連などの幅広い情報をタイムリーに発信しています。



<https://www.nittsu.co.jp/>

TVCM / VIDEO



放映中のTVCMやTV番組を通じて、当社が展開している様々な取組みを多くの方々にお伝えしています。



<https://www.nittsu.co.jp/corporate/cm/>

SPORTS



当社は、部活動を通して、様々なスポーツの普及、振興、国際化に努めております。



<https://www.nittsu.co.jp/sports/>

SAMURAI JAPAN



当社はダイヤモンドパートナーとして、「侍ジャパン」を応援しています。



<http://japan-baseball.nittsu.co.jp/>

Youtube公式チャンネル

TVCMや企業活動、歴史など当社にまつわる情報を映像でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCatNmOs5hJzVWMfofQeUnaQ>





世界日通。

ともに前へ、ともに世界へ！

日本通運は侍ジャパンを応援しています。

© 2018 SAMURAI JAPAN

We Find the Way
日通 日本通運
NIPPON EXPRESS

〒105-8322 東京都港区東新橋一丁目9番3号
TEL: 03-6251-1111
URL: <https://www.nittsu.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。